

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2027年6月9日まで（2017年7月31日設定）	
運用方針	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベ ビ ー ファン ド	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マ ザ ー ファン ド	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベ ビ ー ファン ド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マ ザ ー ファン ド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

第8期（決算日：2021年6月9日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）」は、去る6月9日に第8期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

投資環境

新型コロナウイルスのワクチン接種の進展に伴う経済正常化後のメイクアップ需要回復への期待の高まりなどからビューティー・ビジネス関連企業の株価は好調に推移しました。また、企業業績については中国における高級化粧品販売が引き続き好調を維持したことや、在宅時間の増加からルームフレグランス需要が増加しており、投資家の期待感が高まりました。

運用のポイント

世界的な高いブランド力や高成長が続くオンライン、中国本土での販売力を重視し、引き続き「L'OREAL」、 「ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A」、 「PROCTER & GAMBLE CO/THE」などの欧米有力化粧品メーカーを上位に組み入れたポートフォリオを維持しました。米国や英国などではワクチン接種の進展から、感染拡大が落ち着きつつあります。その結果、外出や店舗営業などに対する厳しい規制は緩和されつつあり、外出機会の増加や旅行需要の回復によって、メイクアップを中心とし

た化粧品需要や免税品販売の回復などが期待されます。当ファンドでは、組入上位の大手化粧品メーカーの他、これらの恩恵が大きい化粧品専門の小売店、空港での免税店運営企業などにも注目しています。

運用環境の見通しおよび今後の運用方針

ビューティー市場は、高齢化によるアンチエイジング需要の高まりや、女性の社会進出など社会構造の変化、新興国での化粧文化の普及などによって中長期にわたり着実な成長が見込まれる、という見方に変更はありません。このような構造的な成長要因を背景に、2020年についても、世界のGDP成長が大幅なマイナス成長となる中で世界のビューティー市場はほぼ横ばいを維持しました。2021年以降は、経済の正常化に伴う外出機会の増加や旅行需要の回復に加えて、長期間使用しなかったため劣化した化粧品の買替需要などを背景に成長率が1桁台後半へ再加速すると予想しています。当ファンドでは、ビューティー市場の構造的な成長からの恩恵を享受すると考えられる企業を中心に投資を行います。また、ビューティー市場の動向を常に精査しながら、ポートフォリオの調整や新規銘柄の発掘などを行い、今後もパフォーマンスの向上に努めてまいります。



株式運用部
ファンドマネージャー

秋元 政隆

安井 陽一郎

加藤 明

小島 直人

森 俊典

西 直人

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金			
	円		円		%	%	百万円
4期(2019年6月10日)	10,000		228		97.4	—	25,326
5期(2019年12月9日)	9,795		0	△ 2.1	95.8	—	25,983
6期(2020年6月9日)	9,610		0	△ 1.9	94.9	—	24,636
7期(2020年12月9日)	10,000		893		90.5	—	18,206
8期(2021年6月9日)	10,000		1,459		92.4	—	16,924

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	式 率
		騰 落	率			
(期 首)	円		%		%	%
2020年12月9日	10,000		—		90.5	—
12月末	10,153		1.5		97.3	—
2021年1月末	9,925		△ 0.8		97.6	—
2月末	10,272		2.7		97.6	—
3月末	10,913		9.1		97.7	—
4月末	11,263		12.6		97.7	—
5月末	11,491		14.9		97.2	—
(期 末)						
2021年6月9日	11,459		14.6		92.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

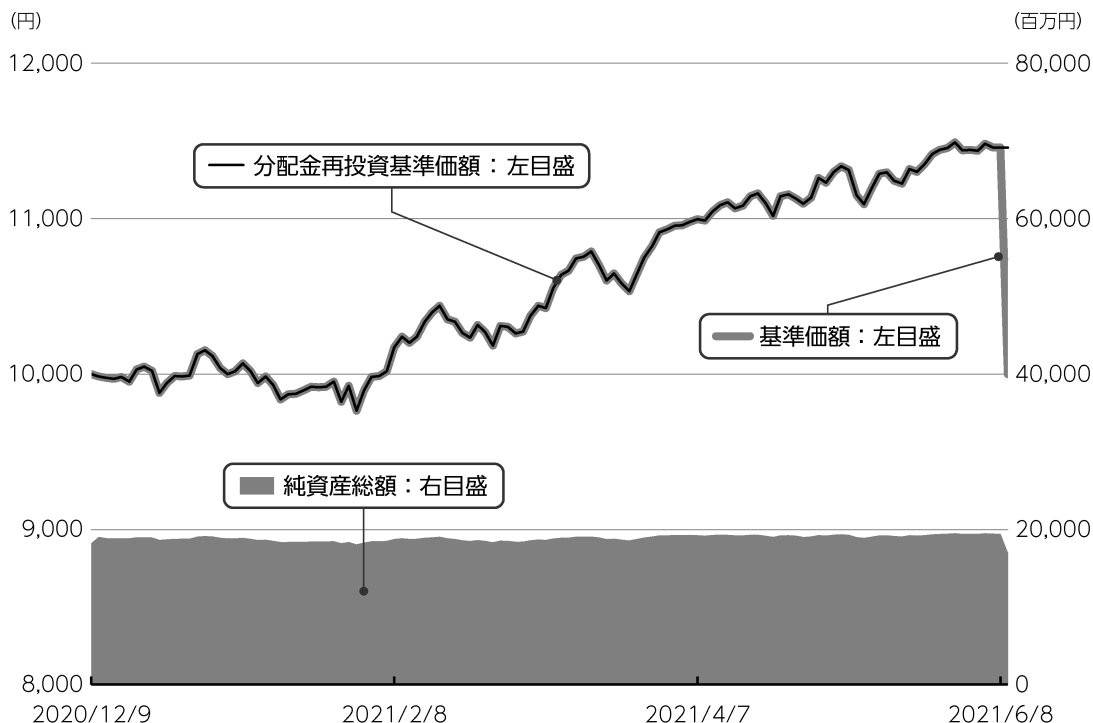
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第8期：2020年12月10日～2021年6月9日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第8期首	10,000円
第8期末	10,000円
既払分配金	1,459円
騰落率	14.6%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ14.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

組入銘柄（L'OREAL、ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A、LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI）の値上がりなどを背景に基準価額は上昇しました。また、円に対して米ドルやユーロなど主要通貨が上昇したことが、プラスに寄与しました。

投資環境について

▶ 株式市況

世界の株式市況は上昇しました。

世界の株式市場は、米国など主要国において新型コロナウイルスのワクチン接種が進展し、経済正常化へ向けた動きが強まったことや、各国中央銀行が緩和的な金融政策を維持したことなどから、上昇しました。

▶ 為替市況

円に対して米ドルやユーロなどの主要通貨は上昇しました。

いち早くワクチン接種が進展して経済正常化への期待感が高まった米国や欧州などで長期金利が上昇したことで、円に対して米ドルやユーロなどの主要通貨を愛好する動きが強まりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。

当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」、「ESG（環境・社会・ガバナンス）への取り組み」

の4点に着目した運用を行いました。通貨別では、円や米ドルなどの比率を引き上げた一方、ユーロなどの比率を引き下げました。

組入銘柄数については、業績動向などから銘柄の絞り込みを行い、期首の37銘柄から2銘柄減少し、期末は35銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

欧米におけるワクチン接種の進展により外出機会が増加し、メイクアップ製品や香水などへの需要が高まるとの判断から大手化粧品メーカーの「COTY INC-CL A」の新規組み入れを行いました。一方で、競合企業と比較して業績回復の遅れが目立っていた歯科治療関連製品メーカ

一の「DENTSPLY SIRONA INC」や、原材料価格の高騰などによって業績の下方修正が続いた香水・香料メーカーの

「SYMRISE AG」などの全売却を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第8期
	2020年12月10日～2021年6月9日
当期分配金（対基準価額比率）	1,459（12.732%）
当期の収益	1,377
当期の収益以外	81
翌期繰越分配対象額	368

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ ワールド・ビューティー・オープン （為替ヘッジなし）

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

世界の化粧品市場は、新型コロナウイルスの感染拡大によって口紅などのメイクアップを中心に売上が大きく減少しました。しかし、米国や英国などでは、新型コロナウイルスのワクチン接種が大きく進展したことで感染拡大が落ち着きつつあります。また、遅れていた日本などの国々でも接種が加速しています。米国では、疾病対策センター（CDC）が、ワクチン接種を完了すれば、屋内外を問わず、マスクの着用を不要とする新たな指針を発表し、社会活動の正常化が急速に進みつつあります。このように世界的なワクチン接種の進展は、外出機会の増加に伴うメイクアップ需要や海外渡航規制の緩和による免税品販売の回復につながり、ビューティー市場にとって強力な追い風となりそうです。

こうした投資環境のもと、当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」、「ESGへの取り組み」の4点に注目しています。ビューティー関連製品は、直接肌につけるタイプの商品が多いため、相対的に価格が高かったとしても品質や安全性が高い、欧米

や日本の大手化粧品メーカーの商品が選好されやすい市場です。また、新興国における化粧品の一人当たり消費額は依然として低く、化粧文化の普及による市場拡大の余地は非常に大きいと考えています。そのため、当ファンドでは、高いブランド力を持つのはもちろんのこと、新興国の需要を着実に取り込んでいる企業に着目しています。

さらに、近年では、スマートフォンなどの普及によって、オンライン販売が大きく伸びているだけでなく、アプリを利用した個人の肌質や好みに合わせた化粧品の提案が可能となり、各社の対応力が試されています。また、ESGへの取り組みがブランド力や企業の持続性を高めるとの観点から、リサイクル可能な容器やオーガニック素材を使用した商品開発のみならず、女性の地位向上に向けた社会貢献活動や、多様な人材が活躍できる職場環境の整備、などに注目しています。当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、ビューティー市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、ビューティー市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

2020年12月10日～2021年6月9日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	95	0.899	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(46)	(0.439)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(46)	(0.439)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.064	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(7)	(0.064)	
(c) 有価証券取引税	1	0.010	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.010)	
(d) その他費用	1	0.013	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	104	0.986	

期中の平均基準価額は、10,580円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

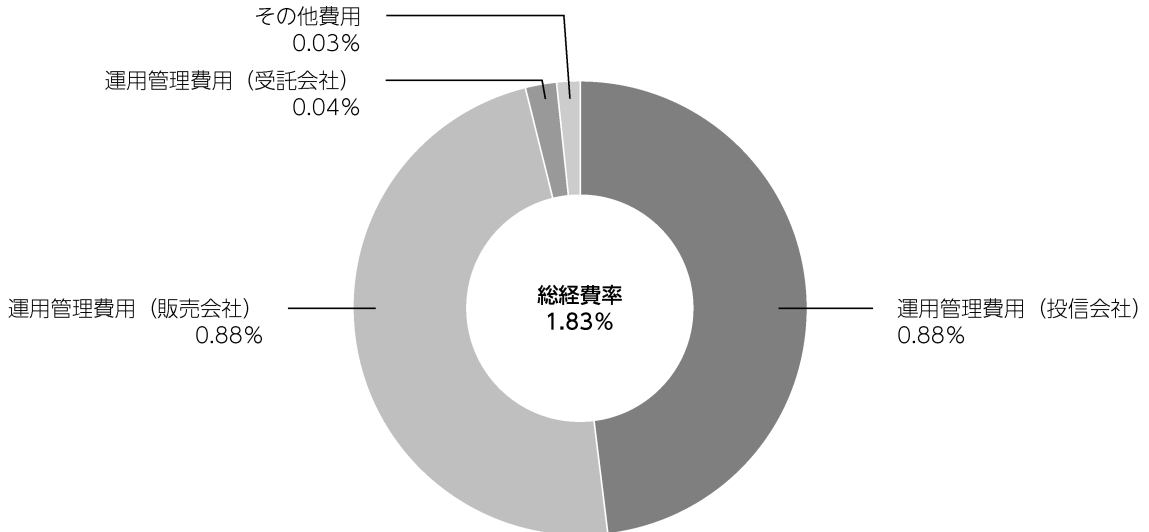
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.83%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年12月10日～2021年6月9日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千口 1,347,298	千円 1,889,990	千口 3,601,242	千円 5,652,920

○株式売買比率

（2020年12月10日～2021年6月9日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ワールド・ビューティー・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	16,744,537千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	22,939,891千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.72

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2020年12月10日～2021年6月9日）

利害関係人との取引状況

<ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）>

該当事項はございません。

<ワールド・ビューティー・マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	6,280	704	11.2%	10,463	44	0.4%
為替直物取引	3,016	1,752	58.1%	8,153	6,323	77.6%

平均保有割合 80.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	12,213千円
うち利害関係人への支払額 (B)	463千円
(B) / (A)	3.8%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年6月9日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ビューティー・マザーファンド	12,031,565	9,777,620	15,890,588

○投資信託財産の構成

(2021年6月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ビューティー・マザーファンド	15,890,588	80.8
コール・ローン等、その他	3,783,785	19.2
投資信託財産総額	19,674,373	100.0

(注) ワールド・ビューティー・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（20,762,509千円）の投資信託財産総額（24,078,849千円）に対する比率は86.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.46円	1 ユーロ=133.26円	1 イギリスポンド=154.94円	1 スイスフラン=122.03円
1 ノルウェークローネ=13.24円	1 オーストラリアドル=84.75円	1 香港ドル=14.11円	100韓国ウォン=9.81円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年6月9日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	19,674,373,288
コール・ローン等	315,274,330
ワールド・ビューティー・マザーファンド(評価額)	15,890,588,958
未収入金	3,468,510,000
(B) 負債	2,749,574,324
未払収益分配金	2,469,445,484
未払解約金	109,554,479
未払信託報酬	170,252,405
未払利息	199
その他未払費用	321,757
(C) 純資産総額(A-B)	16,924,798,964
元本	16,925,603,048
次期繰越損益金	△ 804,084
(D) 受益権総口数	16,925,603,048口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,000円

<注記事項>

- ①期首元本額 18,207,494,645円
 期中追加設定元本額 3,652,067,999円
 期中一部解約元本額 4,933,959,596円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0000円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は804,084円です。

③分配金の計算過程

項 目	2020年12月10日～ 2021年6月9日
費用控除後の配当等収益額	117,036,924円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	2,214,678,057円
収益調整金額	305,065,346円
分配準備積立金額	457,131,689円
当ファンドの分配対象収益額	3,093,912,016円
1万口当たり収益分配対象額	1,827円
1万口当たり分配金額	1,459円
収益分配金金額	2,469,445,484円

○損益の状況（2020年12月10日～2021年6月9日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 12,128
受取利息	112
支払利息	△ 12,240
(B) 有価証券売買損益	2,502,301,271
売買益	2,756,506,564
売買損	△ 254,205,293
(C) 信託報酬等	△ 170,574,162
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	2,331,714,981
(E) 前期繰越損益金	457,131,689
(F) 追加信託差損益金	△ 320,205,270
(配当等相当額)	(302,104,696)
(売買損益相当額)	(△ 622,309,966)
(G) 計(D+E+F)	2,468,641,400
(H) 収益分配金	△2,469,445,484
次期繰越損益金(G+H)	△ 804,084
追加信託差損益金	△ 320,205,270
(配当等相当額)	(305,065,346)
(売買損益相当額)	(△ 625,270,616)
分配準備積立金	319,401,186

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	1,459円
----------------	--------

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2021年6月9日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

ワールド・ビューティー・マザーファンド

《第8期》決算日2021年6月9日

[計算期間：2020年12月10日～2021年6月9日]

「ワールド・ビューティー・マザーファンド」は、6月9日に第8期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
4期(2019年6月10日)	12,541		15.4	97.7	—	32,279
5期(2019年12月9日)	12,395		△ 1.2	98.8	—	31,594
6期(2020年6月9日)	12,268		△ 1.0	97.7	—	29,829
7期(2020年12月9日)	14,052		14.5	97.4	—	21,033
8期(2021年6月9日)	16,252		15.7	98.5	—	19,875

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
(期 首) 2020年12月 9 日	円 14,052	% 97.4	% —
12月末	14,282	1.6	98.0
2021年 1 月末	13,979	△ 0.5	97.8
2 月末	14,489	3.1	98.2
3 月末	15,422	9.7	97.9
4 月末	15,942	13.5	98.1
5 月末	16,291	15.9	97.7
(期 末) 2021年 6 月 9 日	16,252	15.7	98.5

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べて15.7%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の変動要因

(上昇要因)

組入銘柄 (L' OREAL、ESTEE LAUDER COMPANIES-GL A、LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI) の値上がりなどを背景に基準価額は上昇しました。また、円に対して米ドルやユーロなど主要通貨が上昇したことが、プラスに寄与しました。

●投資環境について

◎株式市況

・世界の株式市況は上昇しました。
世界の株式市場は、米国など主要国において新型コロナウイルスのワクチン接種が進展し、経済正常化に向けた動きが強まったことや、各国中央銀行が緩和的な金融政策を維持したことなどから、上昇しました。

◎為替市況

・円に対して米ドルやユーロなどの主要通貨は上昇しました。
いち早くワクチン接種が進展して経済正常化への期待感が高まった米国や欧州などで長期金利が上昇したことで、円に対して米ドルやユーロなどの主要通貨を選好する動きが強まりました。

- 当該投資信託のポートフォリオについて
 - ・日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。
 - ・当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」、「ESG（環境・社会・ガバナンス）への取り組み」の4点に着目した運用を行いました。
 - ・通貨別では、円や米ドルなどの比率を引き上げた一方、ユーロなどの比率を引き下げました。
 - ・組入銘柄数については、業績動向などから銘柄の絞り込みを行い、期首の37銘柄から2銘柄減少し、期末は35銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

欧米におけるワクチン接種の進展により外出機会が増加し、メイクアップ製品や香水などへの需要が高まるとの判断から大手化粧品メーカーの「COTY INC-CL A」の新規組み入れを行いました。一方で、競合企業と比較して業績回復の遅れが目立っていた歯科治療関連製品メーカーの「DENTSPLY SIRONA INC」や、原材料価格の高騰などによって業績の下方修正が続いた香水・香料メーカーの「SYMRISE AG」などの全売却を行いました。

○今後の運用方針

- ・世界の化粧品市場は、新型コロナウイルスの感染拡大によって口紅などのメイクアップを中心に売上が大きく減少しました。しかし、米国や英国などでは、新型コロナウイルスのワクチン接種が大きく進展したことで感染拡大が落ち着きつつあります。また、遅れていた日本などの国々でも接種が加速しています。米国では、疾病対策センター（CDC）が、ワクチン接種を完了すれば、屋内外を問わず、マスクの着用を不要とする新たな指針を発表し、社会活動の正常化が急速に進みつつあります。このように世界的

なワクチン接種の進展は、外出機会の増加に伴うメイクアップ需要や海外渡航規制の緩和による免税品販売の回復につながり、ビューティー市場にとって強力な追い風となりそうです。

- ・こうした投資環境のもと、当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」、「ESGへの取り組み」の4点に注目しています。ビューティー関連製品は、直接肌につけるタイプの商品が多いため、相対的に価格が高かったとしても品質や安全性が高い、欧米や日本の大手化粧品メーカーの商品が選好されやすい市場です。また、新興国における化粧品の一人当たり消費額は依然として低く、化粧文化の普及による市場拡大の余地は非常に大きいと考えています。そのため、当ファンドでは、高いブランド力を持つのはもちろんのこと、新興国の需要を着実に取り込んでいる企業に着目しています。
- ・さらに、近年では、スマートフォンなどの普及によって、オンライン販売が大きく伸びているだけではなく、アプリを利用した個人の肌質や好みに合わせた化粧品の提案が可能となり、各社の対応力が試されています。また、ESGへの取り組みがブランド力や企業の持続性を高めるとの観点から、リサイクル可能な容器やオーガニック素材を使用した商品開発のみならず、女性の地位向上に向けた社会貢献活動や、多様な人材が活躍できる職場環境の整備、などに注目しています。
- ・当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、ビューティー市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、ビューティー市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年12月10日～2021年6月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 10 (10)	% 0.065 (0.065)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.010 (0.010)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	2 (2)	0.011 (0.011)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	14	0.086	
期中の平均基準価額は、14,954円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年12月10日～2021年6月9日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 296	千円 1,723,671	千株 144	千円 956,640
	アメリカ	百株 4,237	千アメリカドル 28,975	百株 5,397	千アメリカドル 41,093
外 国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	44	401	440	4,233
	フランス	84	2,990	616	13,556
	イギリス	96	463	1,312	6,002
国	イギリス	349	千イギリスポンド 1,542	729	千イギリスポンド 3,540
	スイス	624	千スイスフラン 6,768	791	千スイスフラン 11,501
	韓国	—	千韓国ウォン —	2	千韓国ウォン 315,832

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2020年12月10日～2021年6月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	16,744,537千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	22,939,891千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.72

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年12月10日～2021年6月9日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	6,280	704	11.2	10,463	44	0.4
為替直物取引	3,016	1,752	58.1	8,153	6,323	77.6

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	15,149千円
うち利害関係人への支払額 (B)	576千円
(B) / (A)	3.8%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年6月9日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	金 額	株 数	評 価 額
化学 (100.0%)	千株		千株	千円
花王	3.6		62.5	423,187
資生堂	123.4		121.3	976,465
マンダム	14.5		14.5	30,406
ミルボン	8.8		8.8	56,232
ファンケル	219.5		315.2	1,100,048
コーセー	2.1		2.1	37,674
ポーラ・オルビスホールディングス	10.8		10.8	32,173
合 計	株 数	金 額	株 数	評 価 額
	382		535	2,656,186
	銘 柄 数 < 比 率 >		7	< 13.4% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
COLGATE-PALMOLIVE CO	1,370	1,261	10,457	1,144,674	家庭用品・パーソナル用品	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	714	524	15,721	1,720,825	家庭用品・パーソナル用品	
JOHNSON & JOHNSON	235	160	2,614	286,154	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	1,275	1,163	15,681	1,716,539	家庭用品・パーソナル用品	
CLOROX COMPANY	282	394	6,924	757,961	家庭用品・パーソナル用品	
DENTSPLY SIRONA INC	364	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
ALIGN TECHNOLOGY INC	17	2	169	18,527	ヘルスケア機器・サービス	
COOPER COS INC/THE	57	94	3,500	383,130	ヘルスケア機器・サービス	
LULULEMON ATHLETICA INC	26	79	2,614	286,226	耐久消費財・アパレル	
ULTA BEAUTY INC	71	106	3,618	396,037	小売	
CHURCH & DWIGHT CO INC	899	410	3,490	382,051	家庭用品・パーソナル用品	
ABBVIE INC	405	327	3,673	402,103	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
COTY INC-CL A	—	802	731	80,061	家庭用品・パーソナル用品	
APTARGROUP INC	682	556	7,938	868,955	素材	
PLANET FITNESS INC - CL A	100	273	2,094	229,289	消費者サービス	
SMILEDIRECTCLUB INC	739	553	528	57,807	ヘルスケア機器・サービス	
ENVISTA HOLDINGS CORP	616	837	3,597	393,774	ヘルスケア機器・サービス	
SO-YOUNG INTERNATIONAL-ADR	1,000	151	141	15,503	メディア・娯楽	
小計	株数・金額	8,852	7,692	83,497	9,139,624	
	銘柄数<比率>	17	17	—	<46.0%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
BEIERSDORF AG	351	99	1,001	133,411	家庭用品・パーソナル用品	
SYMRISE AG	144	—	—	—	素材	
小計	株数・金額	495	99	1,001	133,411	
	銘柄数<比率>	2	1	—	<0.7%>	
(ユーロ…フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	188	131	8,676	1,156,213	耐久消費財・アパレル	
L'OREAL	476	343	13,061	1,740,567	家庭用品・パーソナル用品	
INTERPARFUMS SA	1,352	1,010	6,282	837,165	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	2,017	1,484	28,020	3,733,947	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<18.8%>	
(ユーロ…イギリス)						
UNILEVER PLC	1,216	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	1,216	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>	
ユーロ計	株数・金額	3,728	1,583	29,021	3,867,358	
	銘柄数<比率>	6	4	—	<19.5%>	
(イギリス)			千イギリスポンド			
UNILEVER PLC	1,514	1,313	5,615	870,096	家庭用品・パーソナル用品	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	913	734	4,716	730,803	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	2,427	2,047	10,332	1,600,899	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<8.1%>	
(スイス)			千スイスフラン			
GIVAUDAN-REG	21	18	7,592	926,500	素材	
STRAUMANN HOLDING AG-REG	49	35	4,873	594,743	ヘルスケア機器・サービス	
DUFREY AG-REG	1,087	936	5,282	644,658	小売	
小計	株数・金額	1,157	989	17,748	2,165,902	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<10.9%>	

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(香港) L'OCCITANE INTERNATIONAL SA	百株 2,550	百株 2,550	千香港ドル 6,783	千円 95,708	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株数・金額 2,550	株数 2,550	6,783	95,708	
	銘柄数<比率>	1	—	<0.5%>	
(韓国) LG HOUSEHOLD & HEALTH CARE			千韓国ウォン 438,336	43,000	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株数・金額 4	株数 2	438,336	43,000	
	銘柄数<比率>	1	—	<0.2%>	
合 計	株数・金額 18,720	株数 14,866	—	16,912,494	
	銘柄数<比率>	30	28	—	<85.1%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2021年6月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 19,568,680	% 81.3
コール・ローン等、その他	4,510,169	18.7
投資信託財産総額	24,078,849	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(20,762,509千円)の投資信託財産総額(24,078,849千円)に対する比率は86.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.46円	1 ユーロ=133.26円	1 イギリスポンド=154.94円	1 スイスフラン=122.03円
1 ノルウェークローネ=13.24円	1 オーストラリアドル=84.75円	1 香港ドル=14.11円	100韓国ウォン=9.81円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年6月9日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	27,868,670,384
コール・ローン等	524,710,682
株式(評価額)	19,568,680,760
未収入金	7,744,005,784
未収配当金	31,273,158
(B) 負債	7,992,740,979
未払金	3,992,090,736
未払解約金	4,000,650,000
未払利息	243
(C) 純資産総額(A-B)	19,875,929,405
元本	12,229,737,755
次期繰越損益金	7,646,191,650
(D) 受益権総口数	12,229,737,755口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,252円

<注記事項>

- ①期首元本額 14,967,752,623円
 期中追加設定元本額 1,768,224,208円
 期中一部解約元本額 4,506,239,076円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.6252円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)	9,777,620,575円
ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)	2,452,117,180円
合計	12,229,737,755円

○損益の状況 (2020年12月10日～2021年6月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	165,383,199
受取配当金	165,482,317
受取利息	158
その他収益金	12
支払利息	△ 99,288
(B) 有価証券売買損益	3,233,784,262
売買益	3,765,382,092
売買損	△ 531,597,830
(C) 保管費用等	△ 2,622,063
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,396,545,398
(E) 前期繰越損益金	6,065,481,384
(F) 追加信託差損益金	722,355,792
(G) 解約差損益金	△2,538,190,924
(H) 計(D+E+F+G)	7,646,191,650
次期繰越損益金(H)	7,646,191,650

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。